

海上の森自然観察会

テーマ 冬鳥をさがそう

日時 2013年12月21日(土)10:00~13:45(曇り/小雨)

参加者 一般:1名(子ども0) 指導員:9名

家を出るときは小雨が降っていましたが、出発する頃には傘なしでも歩けるほどになりました。森は木の葉が落ちて鳥の姿が見やすくなりました。冬に見られる鳥をさがして篠田池方面を回りました。

出発前、駐車所ではコジュケイの声が響き、ジョウビタキも姿を見せてくれました。出発するとすぐ、エナガ、シジュウカラ、メジロの混群が飛来し、しばらくその観察が続きました。

篠田池に行く途中、マルバノホロシの実が色づいていました。近縁のヒヨドリジョウゴの実によく似ています。葉がついていれば見分けは容易ですが、既に葉は無く実だけでした。やや小粒で、色も多少橙色寄りで、実がついている軸に毛がないところで見分けるのだそうです。ケンポナシの木の近くの堰堤付近にあるヒヨドリジョウゴの実と見比べ、違いを確認しました。また、枯れた木の株に大きなナメコらしいきのこおいしそうなヒラタケを見つけました。

昼近くになっても小雨がぱらつき、地面も濡れていたため、昼食はサテライトでとることになり、寒さと空腹で急ぎ足になりました。

今季は冬鳥のツグミが飛来したものの市街地付近ではあまり姿が見られず、海上の森では見られるかと期待しました。しかし、近縁のシロハラの声は3か所ほどで聞かれたものの、結局ツグミは出現してくれませんでした。それでも、アオジやカケスの声が聞かれ、クロジが出たり海上の里のサテライト上空をイカルの群が飛んだりして、結構、野鳥を楽しむことができました。

(報告：齋竹善行)

【その他観察できたもの】

鳥：ヤマガラ、ホオジロ、ヒヨドリ、ルリビタキ、コゲラ、ミソサザイ、ハシブトガラス、モズ、アカゲラ（アオゲラの可能性も）

昆虫：ウラギンシジミ、フユシャク3種、エサキモンキツノカメムシ



(観察会のようす)



(マルバノホロシの実)